

< 進捗状況のご報告 / 2024年5月 >

株式会社ジャパンエンジンコーポレーション 中期事業計画（2022年度～2024年度）

2024年 5月 9日

株式会社ジャパンエンジンコーポレーション

（証券コード：6016 / 東証スタンダード）



1. 進捗状況 サマリー
2. 2024年3月期 経営成績
3. 2025年3月期 業績見通し
4. 株主還元
5. トピックス
 - ① 事業戦略関連
 - ② ESG経営深化



地球に愛される船用エンジンを。

ジャパンエンジンコーポレーションは、世界で唯一、船用低速エンジンの開発～製造～アフターサービスまでに対応するグローバルライセンサーです。100年以上のモノづくりのノウハウと最先端の技術力を結集し、2025年度/2026年度にはGHG排出量を大幅に低減する「アンモニア燃料エンジン」「水素燃料エンジン」を完成予定。エネルギー転換を後押しし、2050年のカーボンニュートラル実現に貢献します。

1. 進捗状況 サマリー

◎FY2022/2023：増収、増益、増配、過去最高を達成

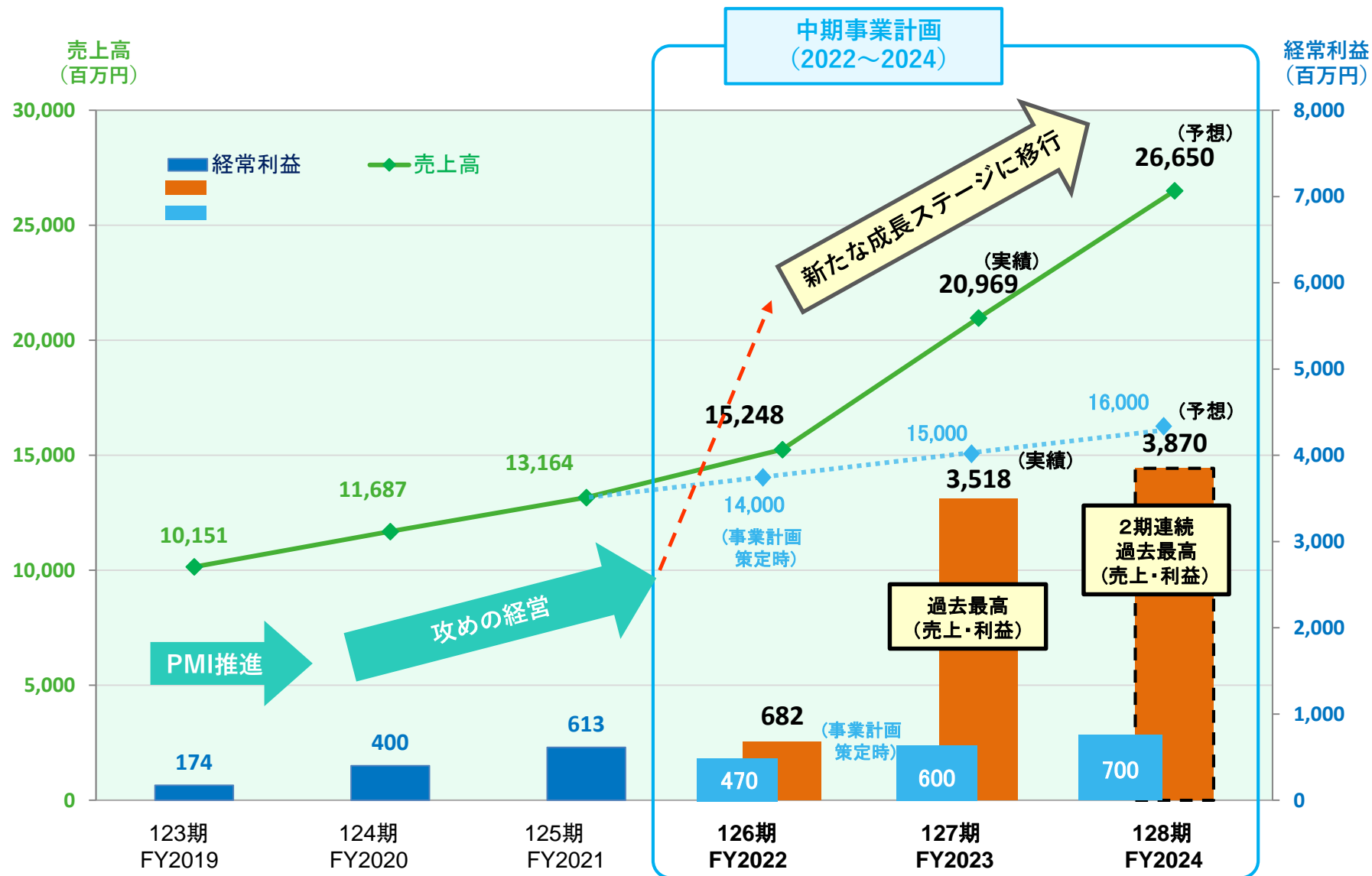
- ・ これまでに講じた施策は確実に成果を上げ、「**新たな成長ステージ**」へと移行。事業計画を大幅に上回る速度で事業が伸長し、FY2023で、過去最高の売上・利益（経常利益・当期純利益）を達成
- ・ 国内外で、UE機関の受注・販売が拡大、台数ベースで**世界シェア10%**を目途付け
- ・ 業界の**ファーストムーバー**として**脱炭素燃料エンジン**の開発・製造を予定通りに進捗中。2025年9月にアンモニア燃料エンジンが、2027年3月に水素燃料エンジンが、各々完成予定

◎FY2024：過去最高の売上/利益を2期連続で更新（成長軌道持続）

- ・ **FY2024**についても、**成長軌道を持続、増収・増益・増配を見込む**
売上高・利益（経常、当期純利益）は2期連続となる過去最高を予想
- ・ 付加価値の高い環境対応製品の開発・製造・販売と、UEエンジンのグローバル展開による世界シェア拡大が、業績伸長の原動力

※2025年度以降の見通しについては、今後の事業環境や業績の推移などを勘案しつつ、**第2次中期事業計画を策定し、2025年5月に発表予定**

1. 進捗状況サマリー（業績推移グラフ）



(※FY2019~2021は連結、FY2022~2024は単体)

2. 2024年3月期 経営成績

- 業績は想定以上で推移し、**通期見通し**を期中に上方修正
その後も好調が持続し、**上方修正後の予想値**を超過して着地
- 「**事業計画策定値**」比では大幅な超過達成

金額単位：百万円

	通期予想			通期経営成績			
	事業計画 策定値	期初 (5月11日)	上方修正 (2月7日) (A)	実績 (B)	達成率 (B/A)	(参考)	
						前年同期	前年同期比
売上高	15,000	18,500	20,700	20,969	101%	15,248	138%
営業利益	—	500	1,900	2,188	115%	442	495%
経常利益	600	1,500	3,100	3,518	113%	682	516%
当期純利益	—	1,100	2,300	2,548	111%	808	315%

2. 2024年3月期 経営成績（売上高）

主機関、修理・部品等ともに好調を継続。前年同期比 増収

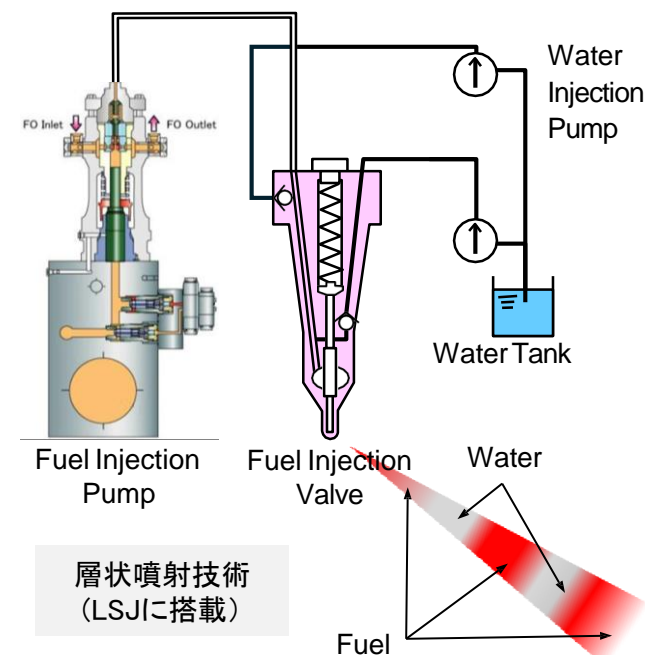
(1) 主機関 前期 6,437百万円→今期 9,493百万円（前期比+3,056百万円 / +47%増）

1) 販売台数増（受注好調、生産増強、ライセンサーへの製造委託）

- ・徹底したマーケットリサーチにより開発した新型省エネ主機関の拡販が奏功し、LSH型を中心に受注は好調に推移
- ・上期は、次世代脱炭素燃料エンジン生産に向けた各種設備工事の影響を受けるも、その間、先行部品組立などに取り組むことで、下期からの生産増強へと円滑に移行するための事前準備を推進
- ・設備工事は順調に進捗し、下期から工場設備の稼働率向上で生産量を拡大
- ・加えて、マーケットの旺盛な需要に応えるべく、ライセンサーへの製造委託を継続

2) 販売単価上昇（環境対応設備搭載、LSJ販売）

- ・窒素酸化物3次規制（NO_xTier III）に適合する環境対応設備（EGR/SCR）を主機関に搭載することで販売単価は上昇
- ・最先端の層状噴射技術を適用したLSJ型機関を販売



2. 2024年3月期 経営成績（売上高）

(2) 修理・部品等 前期 8,810百万円→今期 **11,475**百万円（前期比+2,665百万円 / **+30%**増）

①アフターサービス

- ・船舶の高稼働運航が継続する中で、エンジンユーザー様へのきめ細かい丁寧な対応で、**電子制御部品や燃焼室部材を中心とする旺盛なメンテナンス需要を取り込み**

②ライセンス・部品供給

- ・**UEエンジンのグローバル展開**が奏功しており、特に中国市場で、内航船マーケット向けを中心に、ライセンシーでの受注が進み、UEエンジンの連続生産を実現
- ・当社は、エンジンのキーコンポーネントをライセンシーに販売し、部品供給の売上を立てるとともに、エンジン完成に伴って、ライセンシーからロイヤリティを受け取り



中国ライセンシー YDE社工場(外観)
(33LSH型機関 世界の初号機を製造)



中国ライセンシー GDF社工場(内観)
(UEエンジンを連続生産中)

2. 2024年3月期 経営成績（損益）

(1)主機関 **同型エンジン連続生産、生産効率向上**

- ・生産計画を最適化し、同型エンジンの連続生産を実現することでリピート効果を楽しむ
- ・下期は、先行してサブアッセンブリしていた部分組立品も活用することで、生産効率は更に改善

(2) 修理・部品等 **増収による増益**

- ・アフターサービス、ライセンス、部品供給の全ての事業領域が堅調に推移し、増益に寄与

(3) 研究開発費 **好調な業績で、開発費増の影響を吸収**

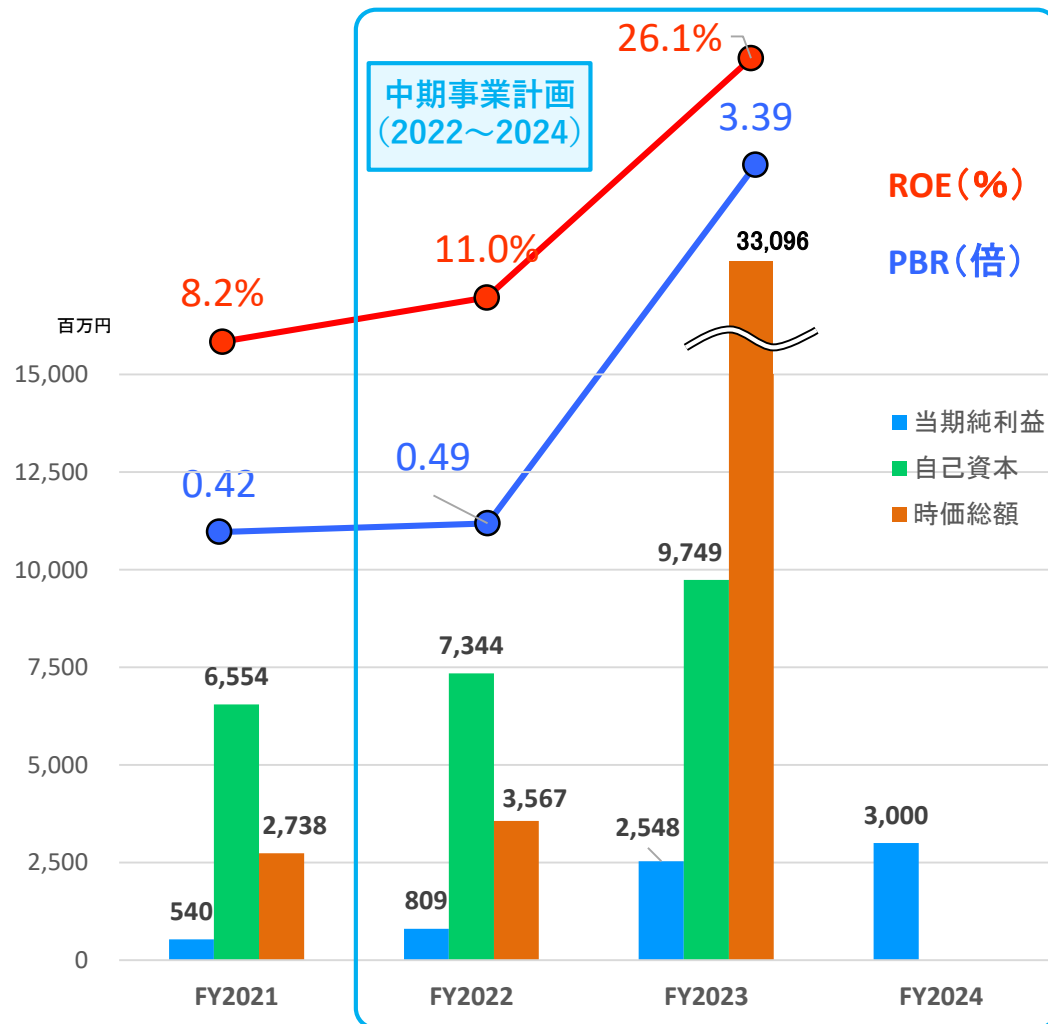
- ・グリーンイノベーション基金事業のご支援のもとで、アンモニア・水素燃料エンジンの開発・製造を予定通り進捗させており、エンジン実機製造に向けた燃料供給装置および試運転設備を本社工場内に建設中
- ・大型試験設備への投資もあり、研究開発費は前期比で増加するも、業績伸長で影響を吸収し、営業利益は前期比で増益を達成
- ・また、開発進捗見合いで受け取る交付金は営業外収益に計上しており、業績伸長による増益と相俟って、経常利益は前期比で大幅な増益を達成
- ・これにより、当期純利益も大幅な増益を達成



アンモニア・水素燃料供給設備

2. 2024年3月期 経営成績 (ROE/PBR)

中期事業計画の打ち手を通じて、**ROE (自己資本利益率) が大きく向上、PBRは1倍を超過 (2023年度末実績：ROE 26.1%、PBR 3.39倍)**



売上高	当期純利益	→ 収益性
株主還元	資産	→ 効率性
研究開発投資		→ 資本政策
内部留保		

収益性

ライセンス事業のグローバル展開でロイヤリティとキーコンポーネント販売の収益が拡大

効率性

船用内燃機関・修理部品等の全ての事業領域が伸長し、資産の効率性が向上

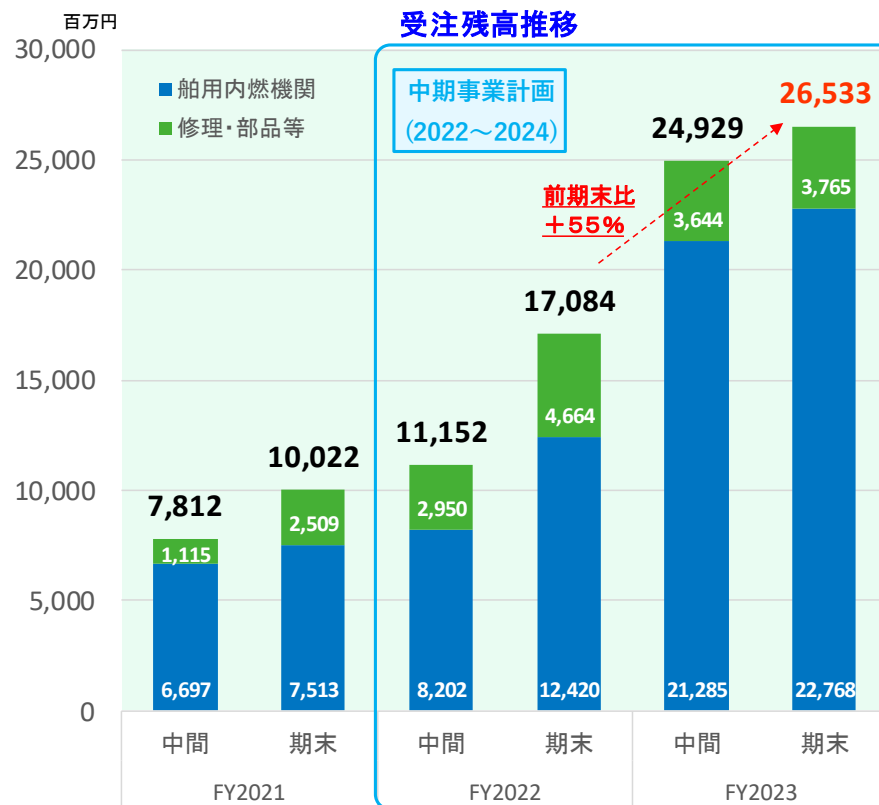
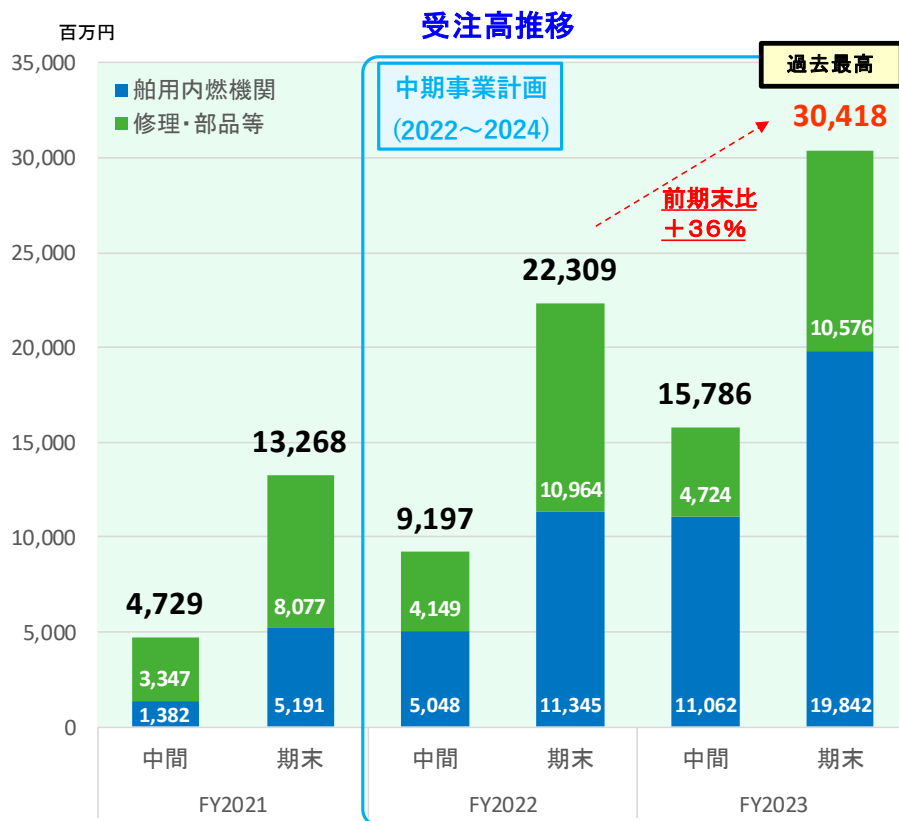
資本政策

次世代脱炭素燃料エンジンの研究開発に投資しつつ、株主還元の拡充(増配)に積極的に取り組む

2. 2024年3月期 経営成績（受注高・受注残高）

受注高・受注残高ともに続伸、受注高は過去最高を達成

…造船マーケットの好況を受け、船用内燃機関の受注が拡大。修理・部品等も堅調に推移。工場の生産効率を向上させることで、高水準の受注高を売上高へと順次転換中



3. 2025年3月期 業績見通し

前期からの増収・増益・増配を見込む

- ・売上高・利益（経常、当期純利益）は過去最高となった前期を上回り
2期連続で過去最高を更新する見通し
- ・「事業計画策定値」比で大幅な超過達成を予想

金額単位：百万円

	25年3月期		（ご参考）		備考
	事業計画策定値	今回発表	前年同期	前年同期比	
売上高	16,000	26,650	20,969	127%	
営業利益	—	3,400	2,188	155%	
経常利益	700	3,870	3,518	110%	
当期純利益	—	3,000	2,548	118%	

3. 2025年3月期 業績見通し（売上高）

(1) 主機関 **前期比で販売台数増加、販売単価は高位で推移**

（販売台数増）

- ・新型省エネ主機関であるLSH型を中心に、受注残高を確保済
- ・設備工事の影響は解消しており、効率的な生産を通期で継続し販売台数増に繋げる
- ・加えて、旺盛なマーケット需要に応えるべく、国内ライセンサーへの製造委託も継続

（販売単価は高位で推移）

- ・環境対応設備（EGR/SCR）の搭載、最先端の層状噴射技術を適用したLSJ型機関の販売などで、販売単価は引き続き高位で推移

(2) 修理・部品等 **引き続き堅調に推移**

（アフターサービス）

- ・船舶の高稼働運航は継続する見通しであり、電子制御部品や燃焼室関連部品を中心とする旺盛なメンテナンス需要の取り込みを継続する。また、省エネビジネス拡販強化と、海外ライセンサー製主機のアフターサービス取込みについても推進していく

（ライセンス、部品供給）

- ・ライセンサーと一体となったUEブランドプロモーションを推進し、ライセンスビジネス（売上・収益）の拡大を図る

3. 2025年3月期 業績見通し（損益）

(1) 主機関 **工場操業は高位を保持、生産効率向上**

- ・同型エンジンの連続生産などで効率的な生産に取り組み、工場操業を高位で保持
- ・UEファミリー（自社並びにUEライセンシー）における戦略的なサプライチェーンマネジメントの構築活動を推進。資機材のロット発注を具体化し、メリットを享受

(2) 修理・部品等 **堅調な推移を見込む**

- ・アフターサービス、ライセンス、部品供給の各事業ともに堅調な推移を見込む
- ・海外ライセンシー製主機のアフターサービス取り込み

(3) 研究開発費 **大型試験設備への開発投資完了で前期比減**

- ・グリーンイノベーション基金事業のご支援のもと、アンモニア・水素燃料エンジンの開発・製造を進捗させ、相応の研究開発関連費用を計上
- ・今後本格化するアンモニア・水素燃料エンジン実機の開発進捗に合わせ受領するグリーンイノベーション基金事業での交付金は、営業外収益に計上
- ・金額規模の大きい水素燃料エンジンの燃料供給装置および試運転装置への開発投資を完了することで、研究開発費は、前期からの減少を見込む

4. 株主還元

株式分割の実施

(1)目的

- ・投資単位の引き下げにより株式の流動性を高める
- ・投資家の皆さまが投資しやすい環境を整え、投資家層の拡大を図る

(2)概要

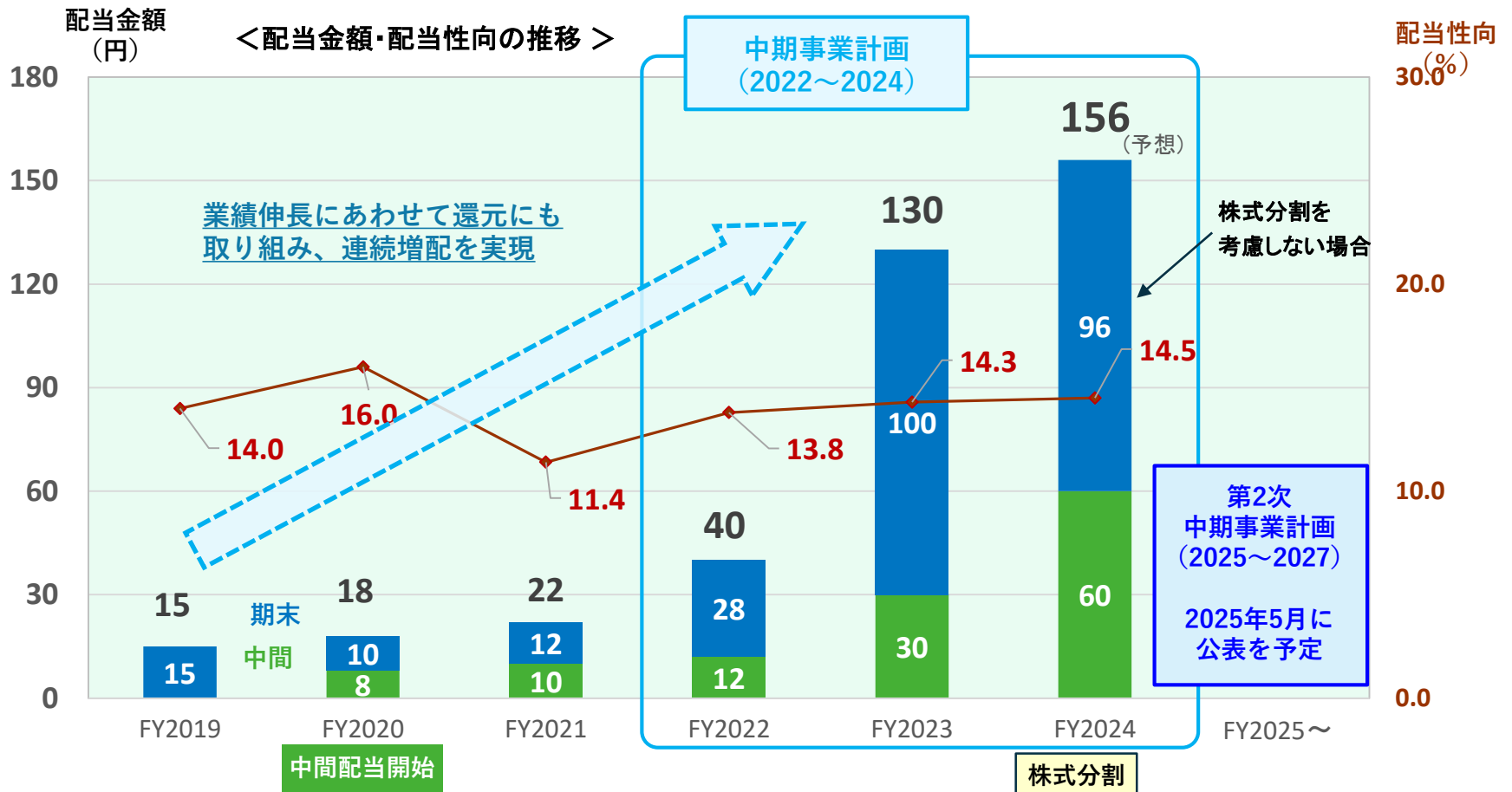
分割の割合	1株につき3株
基準日	2024年 9月 30日
効力発生日	2024年 10月 1日

(3)分割により増加する株式数

	分割前	分割後
発行済株式総数	2,800,000株	8,400,000株
発行可能株式総数	4,000,000株	12,000,000株

4. 株主還元

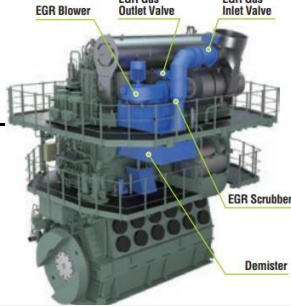
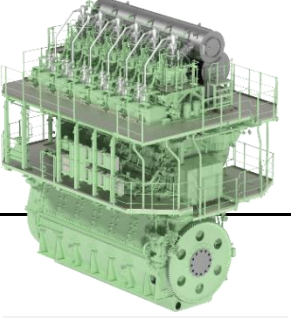
- ・年間配当金 **2023年度 130円/株 ← 前期比 +90円/株**
2024年度 156円/株 ← 前期比 +26円/株 (株式分割を考慮しない場合)
- ・脱炭素燃料エンジンの開発・製造に向けた資金需要は引き続き高水準なレベルが継続するが
今後も業績伸長に沿って、株主様への還元に積極的に取り組んでいく



5. トピックス (事業戦略関連)

戦略① 新製品開発

- ・環境対応を軸とする製品競争力の強化は、事業成長の原動力
- ・次世代脱炭素燃料エンジンの開発・製造・社会実装で業界のゲームチェンジを目論む

技術戦略	進捗状況	
★ NOx規制の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・生産エンジンにおけるEGR/SCRの搭載比率が拡大しており、2023年度以降製造分のLSH型機関では搭載比率100%に到達 →主機関販売単価の上昇、増収に寄与 	
★ 層状噴射エンジン (LSJシリーズ)	<ul style="list-style-type: none"> ・6UEC35LSJ型機関 2号機/3号機完成(2023年度) ・当社独自の先進技術である層状噴射システムを搭載 燃料と水を同じ燃料弁から層状に噴射することでNOx規制をクリアしつつ、燃費を従来比約5%改善 ・2024年度には6UEC35LSJ 4号機が完成予定 	<p>EGRユニット(青色色部分)</p>
★ 超低燃費エンジン (LSHシリーズ)	<ul style="list-style-type: none"> ・好調な受注が続く最新鋭LSH型機関のシリーズ展開を推進 60LSH型機関の開発に着手(2023年度) ・LSH型機関のうち、ボア径50、42、33クラスを市場投入済で、当社およびライセンシーで連続製造中。このラインナップにボア径60クラスを追加 	
★ GHG削減	<ul style="list-style-type: none"> ・次世代脱炭素燃料エンジンとなるアンモニア・水素燃料エンジンの製品化を、グリーンイノベーション基金事業のご支援のもと当初計画に沿って順調に進捗中 	<p>60LSH型機関</p>

★ 既存製品 (重油燃料エンジン) の競争力強化 ★ 新機軸の製品開発

5. トピックス（事業戦略関連）

◎脱炭素燃料エンジンの開発（グリーンイノベーション基金事業）

- ・ファーストムーバーとして、競合他社に先駆けた、アンモニア、水素燃料エンジンの開発・設計・製造で存在感を発揮

<アンモニア燃料エンジン／事業期間：2021年度～2028年度>

世界初

- ・アンモニア燃料アンモニア輸送船の基本設計承認(AiP)を取得(世界初) (2022年9月)

世界初

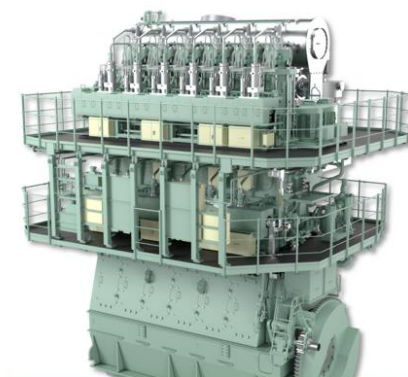
- ・アンモニア燃料エンジン試験機によるアンモニア混焼運転を開始(2023年5月)
～大型低速2ストロークエンジンで世界初

世界初

- ・アンモニア燃料アンモニア輸送船の建造を決定(2023年12月)
～当社製アンモニア燃料エンジンを搭載し、
2026年11月竣工予定
世界初となる国産エンジンを搭載

⇒今後の社会実装を見据えた
1番船となる

⇒竣工後、実証運航を開始予定



UEC-LSJA
Ammonia fueled engine

完成予定: 2025年9月



アンモニア燃料アンモニア輸送船
完成予想図
竣工予定: 2026年11月



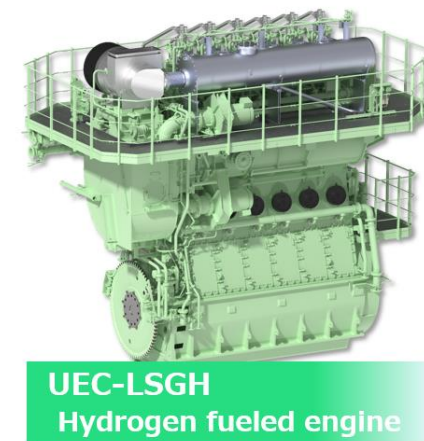
合同記者会見の様子
(2024年1月)

5. トピックス（事業戦略関連）

＜水素燃料エンジン／事業期間：2021年度～2030年度＞

- ・キー技術のひとつである水素燃料噴射装置を完成させており、作動試験を通じて各種データを蓄積中
この装置も活用しつつ、実機の開発・設計・製造を推進していく
- ・水素燃料船の基本設計承認(AiP)を
2023年10月に取得（世界初）

世界初



完成予定：2027年3月

＜実機生産 工場設備＞

- ・アンモニア・水素燃料エンジン実機を製造・試運転するための工場設備を本社工場内に建設
燃料供給装置、防消火装置、試験運転定盤 など
- ・当該設備は、グリーンイノベーション基金事業でコンソーシアムを組む他社とも共同で活用予定




水素燃料多目的船(1万7500重量トン型) 完成予想図
竣工予定：2027年度頃

5. トピックス（事業戦略関連）

戦略② ライセンス事業伸長

- ・ライセンス事業のグローバル展開は、事業成長のドライバー
- ・これまでのUEエンジンのグローバル展開強化が奏功し、特に中国マーケットで大躍進
国内外ライセンシーとの連携強化で、台数世界シェア10%を目途付け

事業区分	進捗状況
<p>ライセンス</p> <p>波及効果</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・UEエンジングローバル展開 <ul style="list-style-type: none"> ・新規ライセンス供与先の中国/GDF社が順調に立ち上がり、UE機関の連続製造に移行。リプレース需要が見込まれる中国内航船マーケットを中心に豊富な受注残高を抱える ・国内ライセンシーへの当社受注エンジンの製造委託を本格化 ・ライセンサーである当社が基軸となり、UEファミリー全体で世界シェア伸長を実現 ・中国マーケットでの大躍進に対応し、中国ライセンシーへの各種サポートを強化
<p>部品供給</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ライセンシーへ供給するキーコンポーネントの売上が増加 <ul style="list-style-type: none"> ・事業拡大に備えた施策を展開 <ul style="list-style-type: none"> ・主要部品の内製化推進、コア技術の流出回避策を講じながら供給体制構築 ・需要拡大に対応するべく強固なサプライチェーンを構築
<p>アフターサービス</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・UE機関の連続生産で、中国ライセンシー製UEエンジン搭載船が順次就航中 今後のアフターサービス需要増を見込み、体制を強化 ・お客様の安全運航に貢献できる、きめ細かいサービスの提供で、UEエンジンの顧客満足度を向上させ、更なる受注増に繋げる好循環サイクルを拡大させていく

中国/
上海に
カスタマー
サポート
センター
を開設

5. トピックス（事業戦略関連）

◎中国/上海にカスタマーサポートセンターを開設（2023年8月）

- ・ライセンシーに対する各種サポート、および、中国におけるUEエンジン搭載船のアフターサービス体制を強化

中国

CSE

CSSC Engine Co., Ltd.
(Qingdao)



YMD

Yichang Marine Diesel Engine Co., Ltd.
(Yichang)



GDF

Guangzhou Diesel Engine Factory Co., Ltd.
(Jingjiang)



YDE

Zhejiang Yungpu Diesel Engine Co., Ltd.
(Ningbo)



- ・UEグローバル展開の強化が奏功し、中国ライセンシーでのUEエンジンの受注・生産が拡大
- ・中国ライセンシーはUEエンジンの連続生産体制に移行しており、今後、中国ライセンシー製UEエンジン搭載船も順次就航を予定

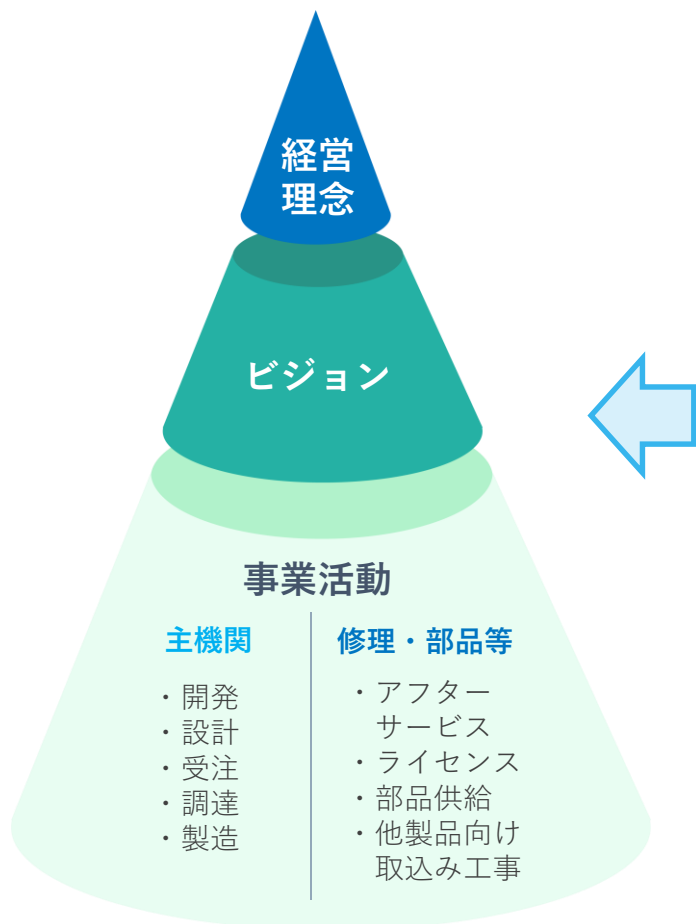
→カスタマーサポートセンターを開設
グローバル展開を推進していく



カスタマーサポートセンター

戦略③ 事業基盤深耕

・事業基盤の深耕により収益力を強化、成長分野への投資を下支え

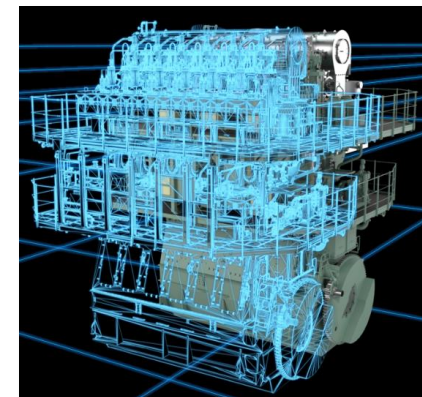


<事業基盤強化計画 認定取得>

- ・海事産業強化法に基づく、事業基盤強化計画認定制度において、当社の計画が国土交通大臣の認定を取得
- ・船舶用エンジンは、経済安全保障推進法に基づく政令で特定重要物資にも指定されており、こうした製品を供給する当社は、今回の認定取得を通じて、事業基盤強化の取組みとも連動しつつ、企業価値の持続的な向上を目指していく

<DX推進>

- ・ITシステムを利活用し、企業競争力を更に強化するべく、全社レベルでのDX改革を推進中
- ・社内システムの最適化、製造現場へのITシステム導入、スマートファクトリー化などで、DX対応を推進していく



デジタルツインエンジン

◎事業基盤強化 計画概要（国土交通省ホームページ 報道発表資料より抜粋）

企業概要

- 船用低速エンジンの世界3大ブランドの1つである「UEエンジン」について、世界で唯一、開発から設計、製造、販売、アフターサービスまでの一貫体制を備えている。
- 創業以来110年を超える長年にわたり培ってきたモノづくりのノウハウと、最先端の技術力を集結した高信頼性、高経済性、親環境性を追及した付加価値の高いエンジンを提供することで、日の丸エンジン「UEブランド」の伸長と発展、さらには企業価値の向上を図っている。



計画の概要

- これまで、NO_x、SO_x、CO₂の排出抑制のため、排ガス再循環(EGR)や脱硝触媒装置(SCR)、層状噴射技術などの様々なソリューションを提案してきた技術力を活かし、国際海運における温室効果ガス(GHG)排出削減を加速するべく、エンジンの燃料を、従来の重油から次世代のアンモニア・水素への転換する取組に挑戦する。
- 具体的には、ライセンサーとしての強みを活かし、アンモニア・水素燃料エンジンを自社で開発・製造し、社会への実装を推進する。

<計画実施期間> 2023年8月～2028年3月

<実施場所> (株)ジャパンエンジンコーポレーション 本社工場(兵庫県明石市)

開発中の水素・アンモニア燃料エンジンのイメージ



UEC-LSJA
Ammonia fueled engine



UEC-LSGH
Hydrogen fueled engine

5. トピックス (ESG経営深化)

E : Environment

製品を通じての貢献に加え、製造工程における環境負荷も軽減することで気候変動課題に対する取組みを全方位で強化しています

トピックス	FY2022		FY2023		FY2024 (取組中)	
	上	下	上	下	上	下
1 環境マネジメントシステム導入 ISO14001認証導入		▼ 認証取得		▼ 更新		→ 認証継続
2 CO2排出削減 太陽光発電の導入(発電容量545kW) ・事務所・倉庫棟の屋上に設置、余剰電力の売電を開始 照明換装(LED化) ・本社エリア内の全照明(工場、事務所棟)をLEDへ換装 空調機換装 ・空調機の性能向上(高効率化)、熱交換型換気扇導入		▼ 設置完了 発電開始	▼ 工場内 換装完了	▼ 事務所内 換装完了 ▼換装完了	 再生可能エネルギーの活用を進めています	→ 製造工程における電力およびCO2排出量を削減しています
3 サステナブルファイナンスの導入 グリーンローンによる資金調達実施 ・アンモニア・水素燃料エンジンの製品化資金に充当			▼ 契約締結	▼ 資金充当完了		→ 環境改善の取組みを進めています ▼ 年次報告
4 DXによる省資源化の推進 各種業務の電子化、効率化 ・スマートファクトリーへの挑戦(IT活用による業務効率化推進) ・調達システム更新(基幹システムと統合)				株式会社「J-ENG」による J-ENG Procurement System ▼ IT化推進		→ 継続中 → 稼働中

GX
リーグ
参画

2024
年度
より

5. トピックス (ESG経営深化)

S : Social

より豊かな社会の創造を目指し、人財への投資拡大、人的資本経営の積極的な推進で、働きやすく人にやさしい職場環境づくりを進めるほか、地域社会の活性化にも取り組み中です

トピックス	FY2022		FY2023		FY2024 (取組中)	
	上	下	上	下	上	下
社会・地域との連携 寄付を通じた社会貢献(会社・従業員一体での支援) ・会社構内にチャリティー自販機を設置、また、被災地などにも寄付 スポーツを通じた地域社会貢献 ・ヴィッセル神戸とのオフィシャルスポンサー契約継続 清掃活動を通じた環境保護 ・近隣海岸などでのゴミ収集活動を継続中			チャリティー自販機 J1優勝		地域の一員として地域とともに発展を目指していきます	
		▼シルバースポンサーへ		▼シルバースポーターへ		
	▼実施		▼実施			▼実施予定
ビジネスパートナー(サプライヤー)様との連携 事業戦略説明会の開催 ・当社事業戦略をサプライヤー様向けに対面形式で御説明	▼開催		▼開催			▼開催予定
従業員エンゲージメントの更なる向上 働きやすく、人にやさしい職場環境づくりの推進 ・年間MVP表彰制度、キャリアリターン制度の導入 ・自己啓発支援制度拡充、奨学金返還支援制度の導入 ・住宅支援制度および扶養家族への手当拡充			▼MVP表彰実施 ▼キャリアリターン制度導入 ▼自己啓発支援拡充	▼MVP表彰実施 ▼奨学金返還支援導入		エンゲージメント向上に資する各種制度を次々と拡充中です ▼MVP表彰予定 ▼制度・手当拡充
ダイバーシティの深化 積極的な雇用の展開 ・女性社員、外国籍社員の活躍				社内各セクションで活躍中		ダイバーシティを伴いつつ従業員数が増加中です

5. トピックス (ESG経営深化)

G : Governance

法令・社会的規範の遵守で経営の信頼性を担保するとともに、透明・公正かつ迅速・果敢な意思決定を行うための仕組みを構築することで、企業価値を持続的に向上していきます

トピックス		FY2022		FY2023		FY2024 (取組中)	
		上	下	上	下	上	下
1	健康経営の推進 従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に実践中 ・健康経営優良法人認定取得、2023年度からプライト500へ	健康経営優良法人認定継続		▼プライト500認定取得	健康経営優良法人 Health and productivity プライト500	▼プライト500認定継続	健康経営優良法人 Health and productivity プライト500
2	ウェルビーイングの向上 従業員の健康増進に向けた取組みを展開 ・人間ドック受診補助拡充、禁煙サポート制度導入、健康増進イベント開催 コミュニケーション活性化への取組 ・ヴィッセル神戸 優待チケット販売、観戦イベント開催(社員・家族向け)	ウォーキングラリー 上位入賞者 表彰 ▼観戦イベント		▼ドック補助拡充 禁煙サポート制度導入	▼ウォーキングラリー開催 ▼観戦イベント	職場全体での取組みを進めています ▼▼▼観戦イベント(予定)	
3	教育・訓練の拡充 教育: 人的資本の育成・成長 ・外部機関とも連携し、階層別・テーマ別教育を展開 訓練: 防災・減災への取組 ・天災や事故の発生を想定した訓練を実施	コンプライアンス研修 個人受講票 <small>(研修レポート) 氏名 日付 年 月 日</small> 第一受講者: 〇〇〇〇 第二受講者: 〇〇〇〇 第三受講者: 〇〇〇〇		リカレント教育・リスクリングで 従業員の能力を高めています			
4	コンプライアンス遵守・コーポレートガバナンス強化 コンプライアンス遵守の取組を徹底 ・教育等を通じた意識付けの強化、違反通報制度の構築 企業統治体制を構築し、コーポレートガバナンスを強化 ・経営全体の効率性、透明性、信頼性を確保			健全経営の推進で 企業価値を向上 させていきます			

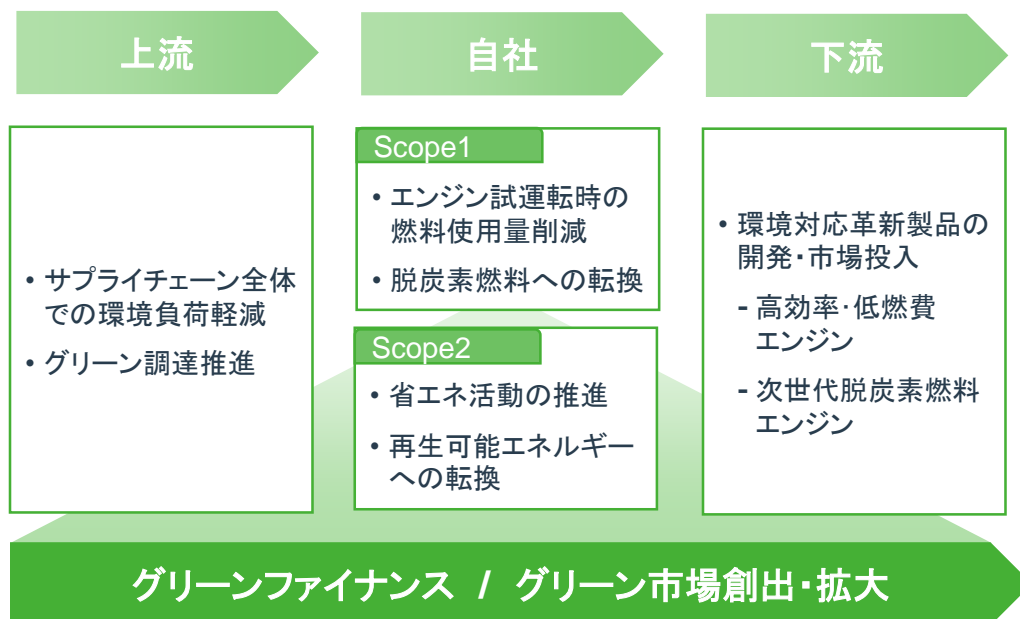
5. トピックス (ESG経営深化)

トランジション戦略発表、GXリーグへの参画表明

- ・2050年カーボンニュートラル達成に向けた当社の脱炭素経営を総括するとともに、今後の方向性を明確にするべく、トランジション戦略を発表
- ・また、業界におけるGXの取組みをリードするべく、GXリーグへの参画を表明

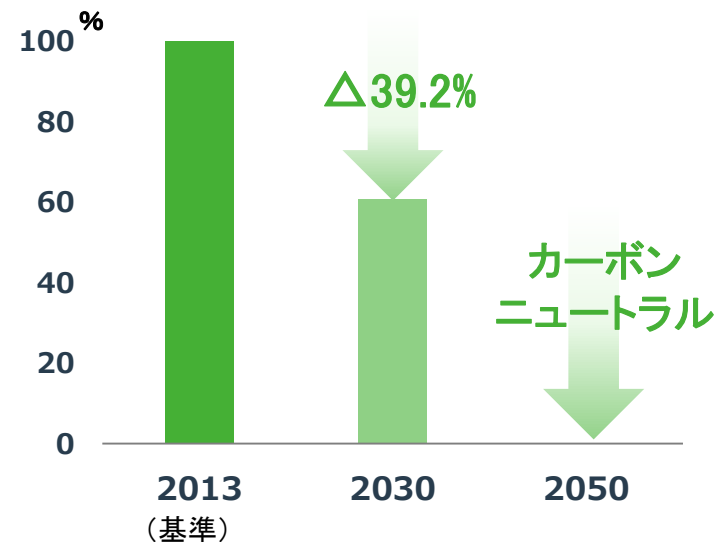


トランジション 取組み概要



CO2排出量削減目標

2050年 カーボンニュートラル達成
(2030年度:2013年度比 Δ 39.2%達成)





1, Minamifutami, Futami-cho, Akashi, Hyogo Pref., 674-0093, Japan

<https://www.j-eng.co.jp/>

<IRに関するお問い合わせ>

電話番号 : 078-949-0800 / Eメール : pr_info@j-eng.co.jp

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により、記載されている内容とは、大きく異なる結果となる可能性がありますこと、ご承知置きくださいます様、お願い申し上げます。

※本資料に記載の金額は、表示単位未満の端数を、四捨五入・切捨て等で調整して表示しております。